

ILC・地層処分を巡る関係機関等の動き

* 赤字は ILC 関係 肩付小文字は資料有→HP

- 1986.5 日鉱探開(株)は動燃の要請により高レベル廃棄物地層処分適地選定のため北上山地を調査報告¹⁾
- 1988~1998.3 釜石鉱山(株)原位置試験(割れ目・水理・地球科学特性、人工バリアなど)
- 1995 岩手県知事増田寛也氏当選 → 2007年4月四選不出馬
- 1997 KEK内にリニアコライダー計画推進室設置
- 2000.6 「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」が施行
- 〃 .10 原子力発電整備機構(NUMO)が設立 2002全国市町村を対象に調査地区を公募
平成40年代(2028年代)後半の処分場操業開始を目標(交付金年5億円~10億円)
- 2004.11 KEK主催 第1回 ILCワークショップ世界からも220名参加
- 2006.3 六ヶ所再処理工場アクティブ試験開始前岩手県民の説明を求める動き、増田知事背信的行為あり
- 2007.1 高知県東洋町田嶋町長文献調査に応募発売し辞任 出直し選挙沢山新町長同年4月応募撤回
- 〃 リニアコライダー基本設計が策定される、これを基に国際的に技術設計開始→2012年末最終報告
- 〃 .8.27 第1次安倍改造内閣で増田氏総務大臣・地方分権担当・郵政民営化・地方格差是正担当就任
→2008年9月24日総務大臣退任→2009年東大客員教授、野村総研顧問、2011年5月日本創成会議座長
- 2008.6 先端加速器科学技術推進協議会AAA設立、ILC計画を中核 KEK内事務所
- 〃 .9.8 「地層処分事業と地域振興プランについて」韓国で放射性廃棄物と陽子加速器一体事業建設
- 2009.4 東北「ILC推進協議会」設立代表：東北経済連合会幕田会長、井上東北大総長 現産188,官15,学10
- 〃 .6 岩手県議会で飯沢匡県議「大変夢のある事業、建設費8000億円」
- 〃 .10 岩手県議会科学技術振興議員懇談会研究会 KEK吉岡教授の講演会を開催
- 2010.11.30 増田氏内閣府原子力委員会 新大綱策定会委員就任
- 〃 .12.17 高レベル放射性廃棄物処分シンポジウム(東京:日本科学未来館)において
講師増田寛也前知事:首長の権力行使は理屈としては可能 立地自治体へ引き換え振興策
パネラー中国新聞宮田俊範経済部長:処分場受け入れメリットとして金ではなくILC等はどうか
- 2011.2 岩手県議会達増知事「東北加速器基礎科学研究会に国際学術都市調査研究分科会設置岩手参加」
- 2011.3.11 東日本津波大震災 福島第一原発事故 5月増田氏日本創成会議設立座長へ就任
- 〃 .8 岩手県東日本大震災津波復興基本計画参考資料に ILC誘致(未臨界炉、放射性廃棄物処理研究)
- 2012.4.25 本会他達増知事へ ILC質問・要望書提出対応に問題→5.22文書回答「最終処分場に転用せず」
- 〃 8.14 増田寛也氏「日本創成会議が ILC誘致を提案、・・加速器を使った半減期短縮」読売論点⁵⁾で
- 〃 .9.11 日本学術会議「高レベル放射性廃棄物の処分について」原子力委員会へ回答
- 〃 .9.17 日本地質学会で日大高橋正樹教授は最終処分場に地層が安定北上山地海岸地2地域を挙げる
- 2013.5.23 JAEA日本原子力研究開発機構 JPARCで放射性物質が施設外へ漏洩事故
- 〃 .5.27 ILC審議依頼 文科省研究局長から日本学術会議会長宛
- 〃 .5.28 経産省総合資源エネルギー調査会放射性廃棄物小委員会(最終処分場)増田寛也委員長就任
- 〃 .5.29 岩手日報広告「ILCを次世代へ世界遺産の地で」増田前知事平泉講演会報告、核変換処理
- 〃 .9.30 国際リニアコライダー計画に関する所見(第一次)日本学術会議文科省へ回答 課題の検討を
- 2014.10.19 「地層処分を考える」in盛岡 NUMO主催 4月増田寛也氏東電社外取締役就任
- 2015.4.15 平野達男参議院議員が岩手県知事選に立候補を表明自公応援 8.7立候補取り下げ
- 〃 .6.5 経産省資源エネルギー庁盛岡市内で県内自治体向け最終処分場・連絡会を開催 非公開
- 〃 .9.6 現職達増拓也氏無投票当選 アンケート回答(最終処分場、原発、核燃サイクルに反対)
- 2016.6 東北 ILC準備室設置(14日)仙台、岩手 ILC連携室:県先端科学技術研究センターに開設
- 2016.7.31 東京都知事選挙 増田寛也氏(179万票次点)落選
- 2017.4.3 岩手県北上山地がILC(国際リニアコライダー)の建設候補地に決定 ILC戦略会議
- 〃 .7.23 一関市ILC信州大茅野准教授、岩手大高塚名誉教授講演、この後「ILC誘致を考える」発足
- 〃 .7.28 政府地層処分場選定「科学的特性マップ」を公表、適地は国土の65%市区町村は1500自治体
- 2018.4.1 AAA正会員:三菱重工(株)等110社、賛助会員高エネルギー加速器研究機構、岩手県立大等41機関
- 〃 .6.29 ILC100人委員会(128人)発足会 発起人代表増田寛也氏 問合せAAA松岡事務局長三菱重工
- 〃 .7.4 有識者会議「ILC計画の見直しを受けてこれまでの議論のまとめ」500→250GeV、7.20審議依頼
- 〃 7.28 ILC誘致を考える会「地域起こしとILC誘致」千坂氏、山下首都大准教授講演70名
- 〃 8.10 ILC誘致を考える会千坂氏他6名の有志で学術会議へILC建設に関する意見書を提出
- 〃 8.24 ILC誘致を考える会一関市長へILCのリスクに係る質問状提出 回答8月31日
- 〃 .9.18 国際リニアコライダー計画の見直し案に関する論点メモ(案)公開 日本学術会議 検討委員会
- 〃 .9.24 ILC解説セミナー、初めてのリスク説明会140名、一関市保健センター疑念続出
<この頃から推進側団体から学術会議へ意見書国内・海外から多数提出される>
- 〃 .10.21 科学的特性マップに関する対話型全国説明会(最終処分場選定)釜石集会約50名参加
- 〃 .11.9 菅野成寛氏平泉町ILCリスクを考える集い講演、11.14一関市講演 11.17盛岡市講演
- 〃 .11.14 日本学術会議検討委員会所見案について、11.21非公開検討委会実施 所見文科省提出未定になる
- 〃 11.16 岩手県庁で考える会他7名でリスクなど意見交換会、KEKから教授2名対応
- 〃 11.26 岩手県内6団体で9.18見直し所見案に賛同意見書を学術会議検討委員長へ提出:HP掲載
- 〃 .12月~2019年1月学術会議 ILC計画の見直し案に関する所見(第二次)文科省へ提出か?